

令和2年岩国市議会7月臨時会報告

岩国市議会臨時会が、7月17日（金）に開催されました。

日程に先立ち、福田市長から、7月13日に確認された岩国基地における新型コロナウイルス感染者3人の発生について報告がありました。

市においては、山口県と連携し、岩国基地に対して(1)今回の感染者に対し、隔離措置などの感染拡大防止対策に万全を期すこと、(2)岩国基地関係者は、検疫体制を遵守し、基地内及び基地外での感染拡大防止対策を徹底すること、(3)日本人従業員等への感染拡大防止対策に万全を期すこと、(4)行動経路等、感染者に関する情報提供を適切に行うこと、の4点について要請を行っています。

7月15日時点の岩国環境保健所による調査では、航空機内の濃厚接触者は6人で、このうち1人が県内居住者であり、岩国環境保健所が接触状況を確認の上、PCR検査を実施した結果、陰性で、今後、健康観察を行っていくとのことでした。

岩国錦帯橋空港の対応状況については、岩国錦帯橋空港は本市の重要な交通拠点の一つであることから、関係機関と連携し、安心して利用いただけるよう、万全の感染拡大防止対策を講じてまいりたいとの説明がありました。

市では、感染者に係る正確な情報を速やかに市民に伝えるとともに、今後においても、市民の命と健康を守ることを第一に、岩国基地に対し、関係機関と連携して迅速かつ適切に対応していくとの報告がありました。

次に、今臨時会に提出された、令和2年度岩国市一般会計補正予算（第2号）について、提案説明がありました。このたびの補正予算は、新型コロナウイルス感染症対応策をより一層強化するため、国の補正予算の成立を受けて実施する事業及び市独自の対応策として実施する事業の必要経費が計上されました。

主な事業としては、

- ・ひとり親世帯について、新型コロナウイルス感染症の影響による子育て負担の増加や収入の減少に対する支援を行う臨時特別給付金、
- ・市内経済の活性化を図るため全世帯が購入できるよう発行する岩国市プレミアム商品券、
- ・市内の小売業や飲食サービス業などの店舗において、感染予防のための工事及び備品購入を行う事業者に対する補助金、
- ・観光産業への対応策として、地元の業界団体などが行うイベントやキャンペーンの実施に必要な費用の補助金、
- ・市内小中学校で整備する消毒液や体温計などの衛生用品、換気に必要な備品購入など、

総額14億478万4,000円の補正予算が計上されました。

本補正予算は、委員会付託を省略し、本会議で審議した結果、全会一致で原案のとおり可決しました。